

【冬期間における水抜き方法】

冬期間、水道管の凍結の恐れがある場合や長期間不在にする場合に行ってください。
水抜き操作を行わず修理が必要になった場合の費用は自己負担となります。



この写真は偶数番号（2・4号室）のお部屋のものです。
奇数番号（1・3号室）のお部屋は弁の位置が左右逆になります。

《水抜き操作方法》

1. バルブ①を閉じる（右回し）
2. バルブ②を閉じる（右回し）
3. バルブ③を開く（左回し）
4. 室内の各蛇口を「全開」にしてください。
（全開にすると蛇口の水が出るところから空気が吸い込まれ、水道管内の水が完全に抜けます）
5. トイレはレバーを2回程度操作しタンク内を空にしてください。
6. 洗面化粧台の中にある水抜き栓を開き水を抜いて、水抜後は水抜き栓を閉めてください。
（洗面化粧台水栓金具の取扱い説明書8ページ参照）
7. 洗濯機に繋いだ給水ホースは、水抜の際に外し、水抜終了後に繋ぎなおしてください。
8. 給湯器も取扱説明書に記載された水抜き方法に従い、確実に水抜きを行ってください。
（ガス給湯器の取扱い説明書91ページの1.給湯器の水抜き参照）
9. 水抜き終了後は事故防止のため、各蛇口・水抜き栓を確実に閉めておいてください。

《通水操作方法》

1. 各蛇口・水抜き栓が閉まっていること、洗濯機の給水ホースが繋がっていること、
ガス給湯器各所の水抜き栓の閉まり、給水・ガス元栓の開き状況を確認してください。
2. バルブ③を閉じる（右回し）
3. バルブ②を開く（左回し）
4. バルブ①を開く（左回し）
5. 室内の蛇口をゆっくりと開き、水道管内の空気を抜いてください。
（いきなり蛇口を開くと水と空気が勢いよく飛び散る場合がありますのでご注意ください）